

村田町歴史みらい館 開館30周年記念企画展

後世に伝えたい品々

平成6年10月に開館した村田町歴史みらい館
ふるさとの歴史や文化を紹介してきました
これまでの展示で話題となった資料や町指定文化財など
後世に伝えていきたい村田の宝物が勢ぞろいします



令和6年 9月28日(土) ~ 12月15日(日)

村田町歴史みらい館

※会期中に展示替えがあります。

背景の絵図：江戸時代後期の足立村が描かれた「柴田郡足立村絵図面」(部分)

写真：(右から順に) 故事を題材とした司馬江漢(1747-1818)初期の作品「弄笛図」、伊達政宗公の七男で村田城主であった伊達宗高が愛用した茶釜
宮城県最古級(明治17年以降)の学校日誌群の村田小学校日誌、町内の旧家から発見されたという鬼のミイラと片腕



北山寒庵筆「月に兔図」
若くして亡くなった北山寒庵
(1767-1801)の貴重な作品



雛人形
紅花取引により京都から村田にやってきた古今雛



龍泉院横穴古墳群出土品
古墳時代の横穴古墳群から出土
した須恵器、直刀、金銅製耳環等



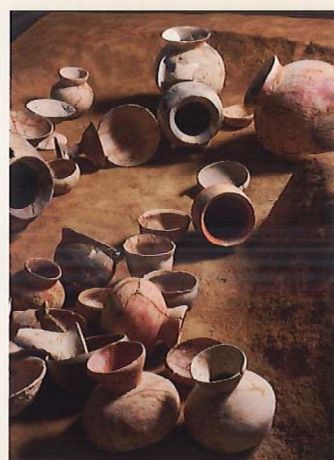
青い目の人形
昭和2年、菅生尋常高等小学校に
アメリカから贈られた友情人形

村田町歴史みらい館 開館30周年記念企画展

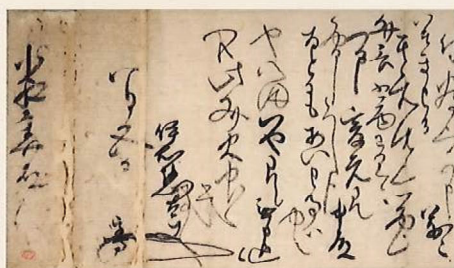
後世に 伝えたい品々

令和6年
9月28日(土)~12月15日(日)

※会期中に展示替えがあります。



新峯崎遺跡出土祭祀遺物
関場地区で発掘された宮城県を
代表する古墳時代の祭祀遺物



伊達宗高公書状
村田城主の伊達宗高(1607-1626)
が家臣小泉重介に宛てた手紙



雛人形箱
村田商人の紅花取引と雛人形の
変遷が墨書されている木箱



柴田郡足立村絵図面
江戸時代後期の足立村が描かれた絵図面

開館時間 午前9時~午後5時 | 観覧料 無料
休館日 毎週月曜日(ただし10/14(月)、11/4(月)は開館)、10/15(火)、11/5(火)
協力機関 東北大学大学院文学研究科、東北大学埋蔵文化財調査室

●問い合わせ先 村田町歴史みらい館

〒989-1305 宮城県柴田郡村田町大字村田字迫85
TEL 0224(83)6822 / FAX 0224(83)6844 E-mail: miraikan@town.murata.miyagi.jp

交通案内
自動車 東北自動車道「村田IC」下車1分
バス ミヤコー高速バス 村田・遠刈田行き(仙台発:所要約30分)「村田町役場前」下車徒歩5分
電車 JR東北本線「大河原駅」下車し、ミヤコーバス村田・川崎行き「村田中央」より徒歩10分

